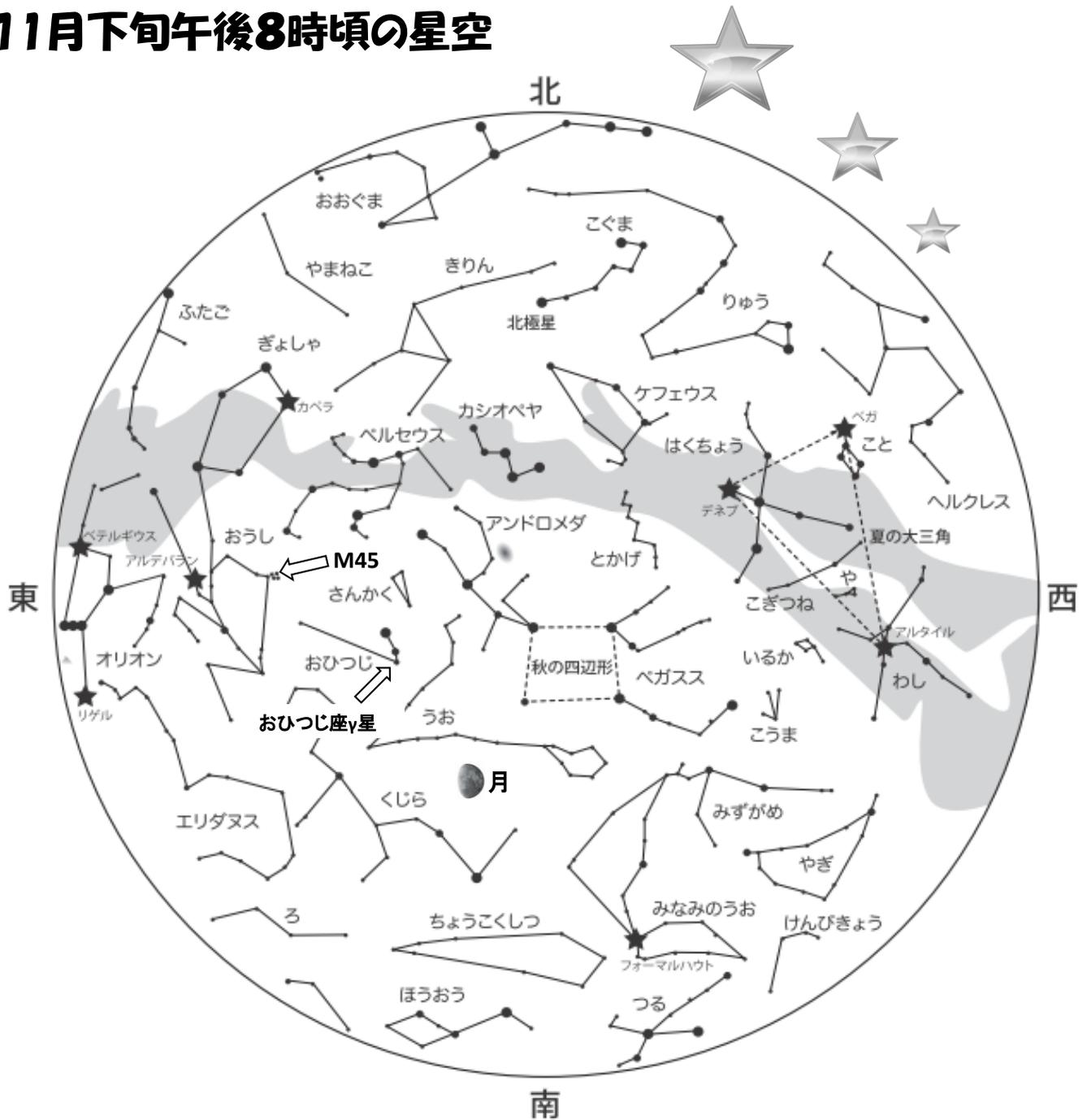


松江市立天文台～11月の天文教室～

2017年11月29日

11月下旬午後8時頃の星空



紅葉も終わりかけて、季節は秋から冬へ移ろうとしています。冬至まで3週間ですが、日の入りが最も早いのは今頃で、太陽は午後5時より早く沈んでしまいます。

暗くなるのが早いので、夏を象徴する夏の三大角が西の空にあり、秋の四辺形が真上に、そして冬の星座が東から昇ってくるのを同時に見ることができます。

11月下旬午後8時頃の星空です。

月の位置は11月29日現在で、見かけの大きさは強調してあります。

この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

今夜の月

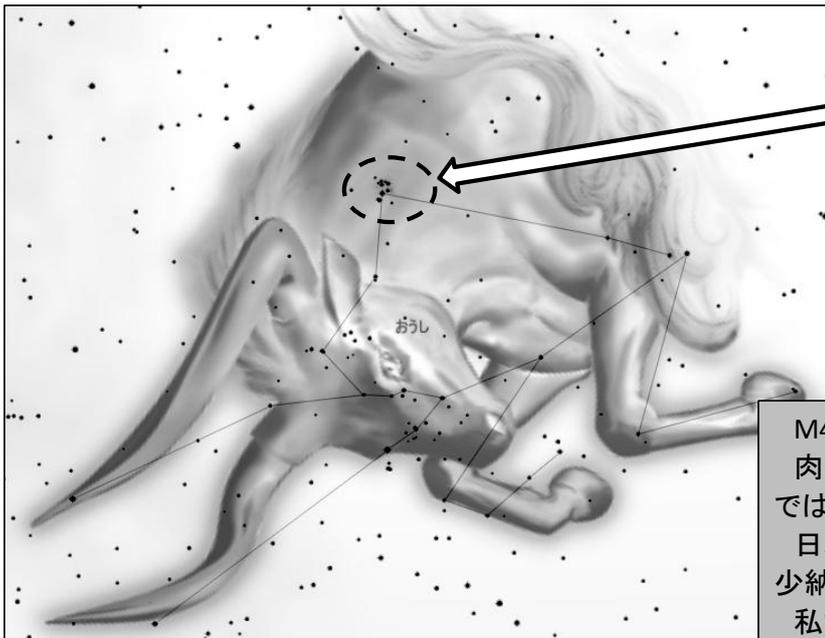
今夜の月は、月齢10

月は地球の周りを約27日で回る衛星で、大きさはほぼ地球の4分の1くらいです。私たちから見える形は、太陽との位置関係で日々変化していて、今夜の月は上弦から二日ほど過ぎて、少しふっくらしています。

天体望遠鏡では、クレーターや、「山脈」と呼ばれるごつごつした地形、「海」と呼ばれる黒くて平らな地形などを観察することができます。



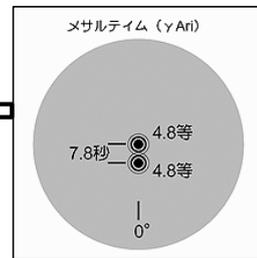
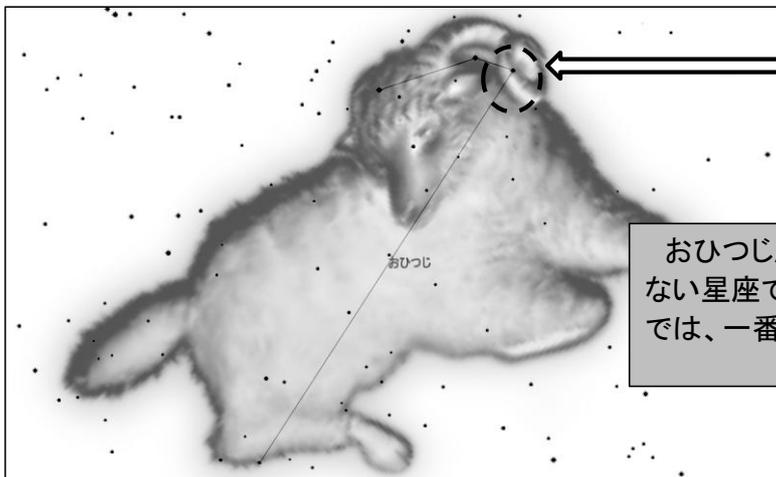
M45 (プレアデス)



M45プレアデス星団
松江星の会 古都さん撮影

M45はおうし座にある散開星団です。肉眼でも数個の星の集まりが見え、双眼鏡では数十の星が視野に広がります。日本でも「すばる」の名で古くから知られ、清少納言の枕草子にもその名が登場します。私たちから約400光年余りの距離にあります。※天文年鑑では距離を410光年としています。

おひつじ座γ星



おひつじ座γ(ガンマ)星を天体望遠鏡で見ると、同じ明るさの白い星が二つ並んで見える二重星です。

おひつじ座はおうし座のとなりにある目立たない星座ですが、古くからある星座で星占いでは、一番最初の星座になっています。

※ご注意

天体望遠鏡のしくみにより、視野の上下左右が逆に見えることがあります。また、空や大気の状態により見え方は異なりますので、ご了承ください。

